

セキスイ

ポールコーンマルチベースワイド

PCMBW140施工要領書

接着用 スチールスペーサータイプ[°] (SNタイプ[°])

このたびは PCMBW140 接着用スチールスペーサータイプ をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お求めの製品を正しく使用していただくために、この施工要領書をよくお読みください。

施工前にご準備ください

準備していただく機械・工具・材料など	使用用途
カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
洗浄ブラシ	設置面、設置孔内部の清掃
コンバックス	ベース間ピッチの測量
チョーク or チョークリール	ベース設置位置および設置孔位置のマーキング
接着剤攪拌容器	接着剤の攪拌
接着剤塗布用ヘラ	接着剤の塗布
接着剤 (エポキシ系)	路面設置・固定
ドライバー (マイナス刃巾6mm以下)	製品組み立て
M10ソケットレンチ (全長40mm以上 エクステンションバー使用可)	ナット増し締め

スチールスペーサー 接着タイプ[°] 施工要領

1 部材の確認

施工される前に必ず、納品された部材と納品書が一致するかどうか、ご確認ください。

部材名	数量	部材名	数量
1 取扱説明書	1	5 スチールスペーサー	1
2 本体ユニット	1	6 M10ゴムリング	1
3 ベース	1	7 M10座金	1
4 固定ピン	1	8 M10袋ナット	1

2 設置位置の決定

なるべく平らな場所を選び、図面のベース設置ピッチにしたがい、コンバックスおよびチョークまたはチョークリールなどで設置場所に目印を付けてください。障害物がある場所や凹凸のある路面は避けてください。また、道路の路面が濡れていないことを御確認下さい。

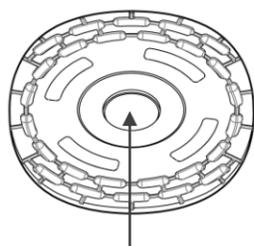
注意 車両の頻繁な踏み越えが想定される場所への設置はご遠慮ください。製品が外れる恐れがあり危険です。

3 設置面の清掃

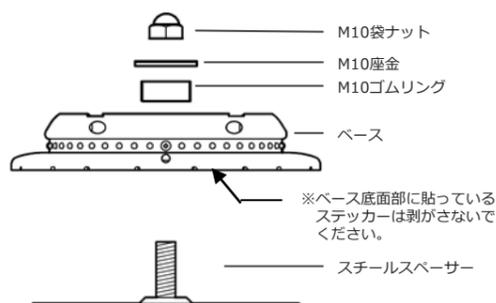
設置面をワイヤブラシなどでしっかりと清掃してください。また、石粉・砂などは、ブラシやエアガンなどできれいに清掃してください。

4 ベース部の組立

ベース中央の円型のステッカーのみを剥がし、スチールスペーサーのボルト部を通す穴をあけてください。次にスチールスペーサーにベース、ゴムリングを右図のようにセットした後、M10座金をはめ込み、M10袋ナットをソケットレンチなどで締め込み固定してください。



注意 中央の円型のステッカーのみを剥がしてください



※ベース底面に貼っているステッカーは剥がさないでください。

注意 スチールスペーサー、その他取り付け部材を保管される際は、PE袋に入れたまま屋内で保管していただくことを推奨いたします。

スチールスペーサーを長期間保管されますと端部や、接着剤充填確認穴に錆が発生する場合がございますが、製品品質上問題はございません。そのままご使用いただけます。

5 接着剤 ロードボンド (エポキシ系) の混合

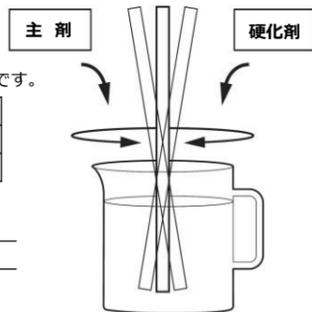
主剤と硬化剤の混合比は 1:1 (重量比) です。それぞれを計量し、白 (主剤) と黒 (硬化剤) のすじがなくなりグレーに均一になるまでよく混ぜ合わせます。

製品1本当たりの使用量 (主剤 + 硬化剤)	
ロードボンド	約50 g

当社ロードボンドの可使時間、硬化時間の目安は以下のとおりです。

気温	30℃	23℃	5℃
可使時間	10分	20分	60分
硬化時間	3.5時間	6時間	16時間

《混合比》
1:1



◀ 施工上の注意 ▶

当社ジスロンボンド及び砂入りのエポキシ接着剤は、ご使用にならないでください。十分な接着強度が得られません。

接着剤は2液性ですので混合費を必ずご確認ください。混合比を間違えると硬化不良を起こし、接着できない場合があります。

6 接着剤 ロードボンド (エポキシ系) の塗布

接着剤を塗布する前にまず、スチールスペーサー底部のほこりなどを取り除いてください。次に、接着剤をスチールスペーサー底面に薄く広げるように塗布してください。設置面に凹凸がある場合は、必ずスチールスペーサー部の設置面に接着剤が接着するように、接着剤を多めに塗布してください。

注意 スチールスペーサーの上面やボルト部に接着剤が付着した場合は、直ぐに綺麗な布で拭き取ってください。

ポイント ベース部への塗布は必要ありません。



7 ベース部の設置

底面に接着剤を塗布したベース部を設置面にしっかり押し付けて、接着してください。接着後、スチールスペーサーと路面が密着してしっかり固定されていることを確認し、周りにはみ出した接着剤を取り除いてください。

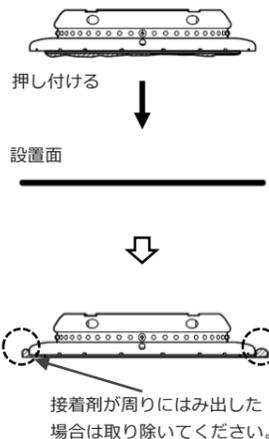
ポイント 製品を複数基設置する際は、通りを出してから固定してください。

注意 硬化時間内の加圧・衝撃は避けてください。十分な養生時間をとらずに交通開放を行いますと、がたつきが生じて製品に不具合が生じたり、路面から外れるなどして危険です。

気温5℃未満での施工は避けてください。接着材の効果が著しく遅くなります。

降雨、積雪時の施工は避けてください。接着剤が硬化しない場合があります。

施工面が水分、油分を含んだ状態では施工しないでください。接着しない場合があります。

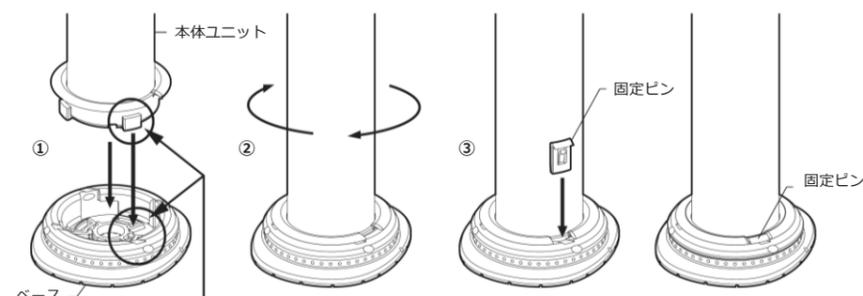


8 本体ユニットの組み立て

本体ユニットをベースに取り付けてください。
①本体ユニット下部の突起部をベースのレール部に差し込んでください。
②本体ユニットを回転させてください。
③本体ユニットを設置後、固定ピンをレール部に差し込んでください。固定ピンは最後まで差し込んでください。

ポイント 本体ユニットの差込位置は下図をご参照ください。

本体ユニットを差し込んだ後、固定ピンを差し込むためのレール部が見えるまで回転させて、本体ユニットがベースから抜けられないように取り付けてください。



※本体ユニットの突起部をベースのレール部に差し込んでください。

9 確認

製品が図面に記載された寸法通り施工されたか、ご確認ください。最後に、固定ピンに浮きがないことをご確認ください。

本体ユニットの交換について

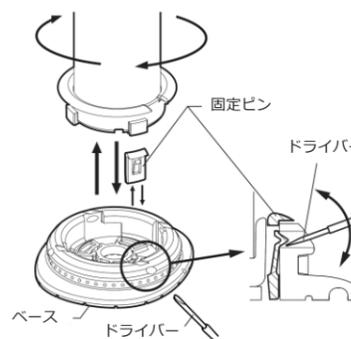
1 本体ユニットの取り外し

固定ピン下部にある丸穴にドライバーを差し込み、固定ピンの凸部を押しながら引き抜いてください。固定ピンを外した後、本体ユニットを回転させて、ベースのレール部から抜き取ってください。

2 本体ユニットの組み立てと固定

本体ユニットの取り外しと逆の手順で、新しい本体ユニットをベースに取り付け、固定ピンでベースに固定してください。

注意 本体ユニット交換の際は、ベースに亀裂や破損がないことを確認してください。亀裂や破損がある場合には、ベースも交換してください。ベースに亀裂や破損がある状態で使用すると本体ユニットが外れるなどして危険です。



3 確認

最後に、固定ピンに浮きがないことをご確認ください。

sjc 積水樹脂株式会社

●ご相談窓口 担当事業部 TEL. 03-3758-1058